



見沼小だより

令和4年度 第 10 号

令和5年2月1日発行

TEL 048-663-7342

<https://minuma-e.saitama-city.ed.jp/>

めざす児童像 世界と向き合い、ゆめをもち、発信力のある子

人生100年時代・・・研究発表会から

校長 佐藤 俊夫

2月4日は「立春」。夜が最も長い冬至（昨年12月22日）から、夜と昼の長さが同じになる春分（今年は3月21日）との中間にあたります。暦の上では春ですが、まだまだ夜の方が長いので、寒さも厳しく、温かい春を実感するにはもう少し時間がかかります。

さて、本校では、令和2年度から3年間、さいたま市教育委員会の委嘱を受け、「学校保健等」に関する研究を進めて参りました。1月24日（火）にその研究の成果を発表する「研究発表会」を行いました。研究主題は「**自己実現に向けて、自らの健康について考え、実践する児童の育成**」です。

2017年9月、政府の「人生100年時代構想会議」の資料によりますと、2007年（平成19年）に日本で生まれた子どもは50%の確率で107歳まで生きると記されています。これは、今の小中学生の半分以上は「100歳以上生きる」ということを意味します。寝たきりになったり、介護を受けたりすることなく、元気に自立して生きられる期間を「健康寿命」といいますが、現在は、男性が72歳、女性が75歳だそうです。「平均寿命」とこの「健康寿命」の差をいかに縮めるかが、人生100年時代を生きる子ども達にとっての大きな課題となります。

「運動」「栄養」「休養」という「望ましい生活習慣」が大切だということは、誰もが理解しています。しかし、実践することは容易なことではありません。子どもたちにとっても、今現在元気だけに、どこか他人事です。いかに自分事として捉え、実践できる子どもを育てていくかが本校の研究課題です。

当日は6年と4年の授業を市内の教職員に公開しました。6年体育科（保健）の研究授業では、大切な保護者にはいつまでも元気でいてもらいたい、そのために私たちが出来ることは何だろう、と考えました。

「いつも仕事が忙しそう」「睡眠時間がとれているのかな」「運動不足が心配です」、等保護者の姿から問題意識をもち、睡眠、食事、飲酒、喫煙、運動不足等のリスクについてICTや文献を活用したり、養護教諭から聞いたりして調べます。それを家の人はどうプレゼンしたら心を動かされるか、そして改善のための行動に移してもらえるか、について課題ごとに話し合いながらより良い方法を模索していきます。これまでどこか他人事だった「望ましい生活習慣」について、自分事として捉えさせたいと考えました。

4年体育科の研究授業では、運動を進んで行うことの大切さに気付き、生涯にわたって運動を習慣化させるために、身近な「遊び」から運動の楽しさを実感できる授業展開を考えました。コロナ禍で外遊びの機会が減る中で、運動の大切さを知り、楽しいと実感した経験を今後も継続していき、生涯体育につなげていきます。

今回の研究では、学校保健の枠組みではありますが、今求められている「ICTの効果的な活用」や「主体的・対話的で深い学び」についての視点も重視して取り組んできました。3年間の研究はこれで一区切りとなりますが、子どもたちが健康で、ゆめを実現させ、幸せな人生を送ってほしいと願いながら授業改善を進められたことは、本校職員にとってもたいへん有意義なものとなりました。

参観者の先生方からの感想 【6年保健】・保健の授業はどうしても教えこみがメインになってしまっていて、どう授業を組み立てればいいのか迷っていました。今回目的意識をもたせるために、身近な人に伝えるということを通して生活習慣病を自分事として捉えやすくしていること、教科書の内容を組み替えて子どもたちに落としやすくしているところなど自分の授業を組み立てる際に参考したいと思いました。・家族の健康課題について考えることは、子どもたちが健康や病気の予防について、自分事として考えるともいい機会になっていると思いました。また、生活習慣の改善は大人にとっても難しいことですが、子どもと一緒にできることを考えるよう促していたのは、大人の行動変容へとつなげるきっかけになるとともに、子ども自身も生活習慣病の予防行動を行っていくきっかけになると感じました。今後の参考にさせていただきたいです。素晴らしい授業をありがとうございました。【4年体育】・子供たちの豊かなアイデアに感心しました。無限の可能性を潰さず、自主性を導き出す指導は勉強になりました。・表現運動や体づくり運動の授業の難しさを感じていましたが、授業計画や担任の声かけの仕方など大変、勉強になりました。・提案性のある授業で、いろいろと考えることも多く、指導者の講評とともに、今後の初任者への指導に参考になることが多かったです。・本校でも、体づくり運動の参考にしていきたいと考えました。授業提供ありがとうございます。